

12月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに、「謎解きイベント in 龍ヶ崎」の開催に向けた情報提供です。

本市・東日本旅客鉄道株式会社水戸支社・関東鉄道株式会社などで構成する、謎解きイベント in 龍ヶ崎実行委員会において、With コロナを意識した謎解き宝探しイベント「コロッケ探偵と龍ヶ崎助手の事件簿」を開催します。期間は令和3年2月13日から3月14日の約1ヶ月間となっております。

通常、このような謎解き宝探しイベントでは、誰でも触れられる宝箱などが設置され、接触機会が多くなると伺っておりますが、With コロナ時代に相応しく、現地には触れる手がかりを置かず、パネル等を設置し、スマートフォンアプリ LINE を活用し、答えを見つけていくとのこと。龍ヶ崎市内に設定された謎解きスポットで、手がかりを探し、謎の答えを考えながら、龍ヶ崎の魅力を体感していただければと思います。

そして、開催費用の一部を資金調達するため、目標金額を100万円としたクラウドファンディングが本日12月25日からスタートします。

1,000円からの支援により「謎解きイベントへの参加」に加え、支援金額によって、昨年5月に実施し好評だった“市役所ワクワク探検隊”、関東鉄道龍ヶ崎線龍ヶ崎駅の一日駅長、さらにはJR龍ヶ崎市駅の駅員体験など体験型を中心に多種多様なリターンを準備しているところですので、多くの皆様のご支援をお待ちしております。

次に、令和3年5月9日に開催を予定しております、本市初となる「第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会」の参加者の募集開始に関する情報提供です。

募集期間は、市民優先枠が令和3年1月12日から14日まで、県内居住者一般枠が1月18日から2月15日までで、インターネットからのみ申し込みできます。

今年6月に、大会実行委員会を設立し、コロナ禍でも開催できる安全で安心な

大会運営の方法について、幾度となく議論を重ねて準備をまいりました。そして、先月 11 月に大会規模や運営方法などが決定したところです。

コロナ禍の中での大会開催は様々なハードルが立ちますが、本市では、With コロナの時代に合わせ、十分な感染症対策、工夫を凝らした大会運営を行うことで、ランナー・ボランティアなどの関係者の皆様が安心してご参加いただける環境を整え、新たな形での大会が開催できるよう準備を進めております。

ランナーの皆様には、色々と制限がある中での開催となり、ご不便をおかけすることもございますが、ここ龍ヶ崎の地を駆け抜ける県内ランナーの皆様と大会開催日にお会いできること、そして、本市の魅力を体感していただけることを楽しみにしておりますので、多くのご参加をお待ちしております。

そして、来年、2021 年はいよいよ東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。今こそ、スポーツの素晴らしさを伝える時です。「スポーツの力でまちを元気に！日本を元気に！」をテーマに多くの人々に元気を与え、まちの元気につなげるとともに、オリンピックのレガシーとして、末永く皆様に愛される大会となるよう、十分な準備を引き続きまいります。

次に、新たな年を少しでも明るい気持ちで迎えて欲しいと、お正月のお年玉などで活用できる市マスコットキャラクター「まいりゅう」ポチ袋のデータ配布に関する情報提供です。

コロナ禍により、イベントの中止が相次ぎ、「まいりゅう」が市民の皆様と触れ合う機会が大幅に減ったことから、ポチ袋を通じて、少しでも「まいりゅう」を身近に感じていただいたり、日頃の感謝の気持ちなどを届けて欲しいとの思いから、市職員が制作したものです。

なお、ポチ袋のデータは、市 PR サイト「子育てたつのこアクション」に掲載しており、無料でダウンロードすることができます。

デザインは、ポチ袋 5 種、万円袋 3 種の全 8 種類を取り揃えております。2021

年や干支を意識したものから、普段使いできるものまで豊富にありますので、ぜひ、ご自宅で活用いただければ幸いです。

最後に、年末年始を迎えるにあたり、改めて、新型コロナウイルス感染症予防に関する大切なお願いです。

本来であれば、年末年始は「ふるさと」で家族や親族の方々、友人などと過ごし、一年を振り返り、新たな年の決意を語り合う時間が多くなるかと思えます。

しかし、今年の年末年始の過ごし方によっては、新型コロナウイルス感染症がこのまま拡大する、阻止できる、さらには、新たな年の流れが決まるといってもよい、例年とは異なる特別な年末年始になります。

忘年会・新年会の開催は極力控え、開催する場合でも少人数・短時間、さらには会話をするときには、必ずマスクを着用するなど、適切な感染予防対策が重要です。

県外からご家族が帰省する場合もあるかと思いますが、感染拡大防止の徹底をお願い申し上げますとともに、感染が拡大している地域からの帰省には、十分注意していただくのはもちろん、時には「時期をずらして帰省して」「今年は帰省しなくても良いよ」といった声掛けをする勇気も必要になってくるかと思えます。

今、この時も医療現場では新型コロナウイルスと戦う医療従事者や感染者の方がいらっしやいます。また、市内の企業でも感染拡大の影響で打撃を受けている企業があります。

感染拡大の波を止めることは、様々な方の“命”、“ふるさと龍ヶ崎”、そして我が国を守ることに繋がります。この年末年始は、改めて命の大切さを考え、静かに自宅で過ごす時間としていただけるよう、改めてお願い申し上げます。

そして、普段とは違い、静かに過ごすべき、特別な年末年始であると常に意識し、新たな年・令和3年を迎えることで、のちに「あの時間は新型コロナウイルス感染症の拡大阻止に大切な時間であった」と振り返れるよう、龍ヶ崎市民が一丸となって、この難局を乗り越えていきましょう。